

黒羽芭蕉の館だより 26

講座「近世の版本で読む『おくのほそ道』北陸編(前期)」

当館では、平成22年度以降、江戸時代に出版された版本で、松尾芭蕉の傑作『おくのほそ道』をじっくりと読んでいく講座を開講しています。1年目に全10回の講座で「序章」から「殺生石・遊行柳」の章まで読んだのを受け、一昨年度は「陸奥篇」と題して「白河の関」から「石の巻」まで読み(全15回)、昨年度は「陸奥横断篇」として「象潟」まで読み進めてきました。それらを踏まえて、本年度上半期は「北陸篇(前期)」と題して、次のような日程・内容で『おくのほそ道』を読んでいきたいと思えます(とちぎ県民力レッジ登録講座です)。以前から続いて受講されている方はもちろん初めの方も大歓迎ですので、お気軽にお問い合わせ・お申し込みください。

●日時および内容

- ① 4月27日 これまでの復習・象潟
 - ② 5月11日 象潟
 - ③ 5月18日 越後路・市振
 - ④ 6月15日 市振
 - ⑤ 7月13日 市振・那古の浦
 - ⑥ 7月27日 那古の浦・金沢
 - ⑦ 8月17日 太田神社・那谷寺
 - ⑧ 9月7日 那谷寺・山中
- ※毎回土曜日
午後1時30分～3時30分
- 場所 黒羽芭蕉の館 研修室
 - 講師 新井敦史(当館学芸員)
 - 定員 40名(定員となり次第締切)
 - 受講料 無料
 - 持参するもの 鉛筆とノート
 - 申込方法 4月5日(金)から26日(金)までに、黒羽芭蕉の館の窓口へ直接または電話・FAXにより申し込み。
- 問 黒羽芭蕉の館
TEL (54) 4151
FAX (54) 4188

大田原市なす風土記の丘湯津上資料館 資料室公開・除籍図書配布のお知らせ

【資料室公開】

当館が所蔵する地域の歴史や民俗にかかわる図書(一般向け書籍・専門書・発掘調査報告書など)を公開します。

- 閲覧日時 4月2日(火)以降の開館日・開館時間内
- 閲覧場所 当館資料室
- その他 蔵書目録は当館ホームページで公開しています。閲覧方法はお問い合わせください。

※貸出は行いません。

【除籍図書配布】

当館が所蔵する図書のうち除籍処分になったものを無料で配布します。

- 配布日時 4月2日(火)～29日(月・祝)の開館日・開館時間内
- 配布場所 当館資料室

問 なす風土記の丘湯津上資料館(大田原市湯津上192)
TEL (98) 3322

彫刻

市内で作られた作品とその作者

周遊 54

このコーナーは、「那須野が原国際彫刻シンポジウム」で公開制作、設置された作品とその作者を連載で紹介しします。

この作品は末広3丁目の白河信用金庫の隣にある緑地の中に設置してあります。

立方体の何かを風呂敷のようなもので包んだような形をした大小2つ1組の作品です。

大きな包みは四角い2つのものが重ねられており、手前側は露わになっています。小さい方の包みは全面しっかりと包んでいるものの、角が一つ、風呂敷が破けてしまったかの様なあと



があり、中身が僅かにのぞいています。

「自然はさまざまな贈り物を私たちに届けてくれま

す」「私たちはそれに気付かずに見過ぎてしまっていたり、忘れていたりしますが、それは確かに存在して、ある使命を果たして静かに消えてゆくのでしょうか」と作者は図録に残しています。

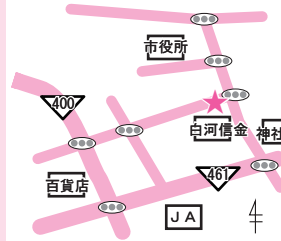
贈り物の箱の中には、一体何が入っているのかを想像させることで、人と自然との距離を縮めようとしたのかもしれませんが。

作者は北海道生まれの渡辺忍氏。岩手大学教育学部特設美術科を卒業後、イタリアのシンポジウムに参加。1986年に第60回国展に出品し、1993年には文化庁芸術インターンシップ研修員となりました。その後も盛岡、洞爺村、十日町などのシンポジウム・ビエンナーレに参加しました。



渡辺 忍 氏

設置場所案内図(★印)



草原のおくりもの

わたなべ しのぶ
渡辺 忍 日本 2004年

問 文化振興課 TEL (98) 3768